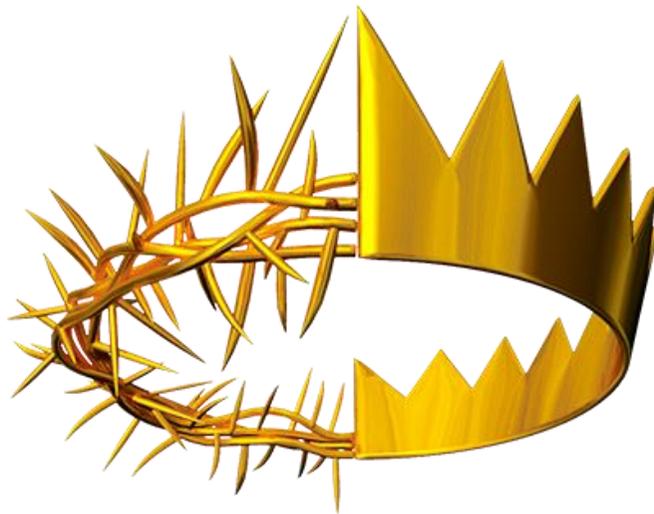


# 2022年 第3期 献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団  
スチュワードシップ部

## 7月2日 主に聖別されたもの

私たちは、ささげものをもって神を礼拝します。ささげものは、主に聖別されたものです。「聖」という形容詞は、多くの場合「安息日」と「什一」に結びつけられますが、「ささげもの」の神聖さについても聖書に数多く言及されています。ささげものの実践を無視することは、神が受けるべき栄誉を神から盗むことと同じでした。

古代イスラエルでは献納物をささげることを通して礼拝し、主を讃美していました。いくつかのささげものについては割合と価値が定められていましたが、礼拝者の個人的な選択に任せられたものもありました。原則は、受けた量に応じて、また最高のものをささげることでした。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、明らかに什一よりも諸献金が減少しているという傾向が見られます。今こそ、最初に最高のものをささげるという聖書の原則を実践しましょう。私たちが定期的に統合約束献金をもって礼拝する時、諸献金が神聖なものであることを認めましょう。

## 7月9日 ホープ・チャンネル・インターナショナル

救いの良い知らせを伝えるため、神は毎日ホープ・チャンネルの世界的メディア伝道を用いて、希望と愛のメッセージを多くの視聴者に届けています。ホープ・チャンネルは世界68以上の拠点から、80以上の言語を通して、聖霊の力によって「収穫は多い」というイエスの使命を成就しています。

世界中で起こっている波乱に満ちた前例のない出来事の中、神は励ましのメッセージを通して世界中の視聴者をつなげるために、ホープ・チャンネルを用いておられます。「ホープ・アット・ホーム」という新しいプログラムは、毎週、刺激的なメッセージや音楽、専門家による健康の情報を届けることによって、世界中の何千人もの人々のためのオンライン教会礼拝を提供しています。また、多くの視聴者の生活が変えられた、という素晴らしい証もホープ・チャンネルで観ることができます。

ホープ・チャンネルの働きは、世界中でささげられる統合約束献金の一部が用いられています。

## 7月16日 境界のない愛

私たちは、境界のない愛の模範を与えてくださった神を、定期的で組織的なささげものによって礼拝します。使徒ヨハネは、御子の使命が全世界を対象とするグローバルミッションであることを記しています。

ある都市に大きな教会は、裕福な教会員が大勢いて、気前の良い教会として知られていました。ただ残念なことに、教会の施設を新しくするのに熱心すぎたため、什一や約束献金をささげることに不忠実でした。その教会の牧師は、自分の教会のためだけにささげる危険性と、世界中の教会家族を支えることの重要性について、教会員を教育しませんでした。彼にとっては設備の整った教会で牧師として働くことが誇りであり、それに満足していました。数年後、教区はこの牧師を、より貧しい地域の教会に異動させました。彼は、すぐに自分の視野が狭かったことを理解しました。

什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、私たちは世界中の人々に仕えるのです。

## 7月23日 真の主人を認める

私たちは神を主人として認める召しに対する応答として、什一と統合約束献金をささげて礼拝します。

ある舟の船長が夜、遠くにかすかな光を見つけ、信号手に「南に10度進路を変えろ」というメッセージを送るよう命じました。すぐに「北に10度進路を変えろ」という返事が届きました。船長は命令が無視されたので怒り、「南に10度進路を変えろ。私は船長だ」とメッセージを送りました。すると、「北に10度進路を変えろ。私は、海軍三等兵ジョーンズだ」というメッセージが届きました。船長はすぐに、「南に10度進路を変えろ。私は、戦艦の船長だ」という3回目のメッセージを送りました。すると、返事がきました。「北に10度進路を変えろ。こちらは灯台だ」

全てを治めておられる真の主を認めないことは常に危険を伴います。什一制度は神を主人として認める方法として設立されました。今日、什一と統合約束献金をささげて礼拝することによって、神が私たちの主であることをもう一度告白しましょう。

## 7月30日 秩序ある神を見習う

私たちは秩序ある神を見習い、秩序正しくささげることによって礼拝します。

ある男性が、お金がいつも盗まれると不平を言っていました。友人が「君が神に特別なささげものをすると誓うなら、誰も君のお金には触れない」とアドバイスし、彼はそれを誓いました。給料日に彼は小切手を現金に替えると、それを隠しました。数日後、誓いを思い出した彼は、信じられないことに少額紙幣がたった一枚しか残っていないことに気づきました。彼は怒り狂って「お前たちが盗んだのは神のお金だぞ。神の罰を受けるぞ」と妻と子どもたちを怒鳴りつけました。妻は黙ったまま紙に何かのリストと、それらの右側に数字を記入して、怒っている夫にそっと手渡しました。彼はそのリストを見つめたまま、言葉を失いました。誰かがお金を盗んでいたのではなく、自分で無計画に無駄遣いしていたのです。

神から与えられた資金を秩序正しく取り扱いましょう。今日、什一と統合約束献金をささげることによって、私たちが秩序ある神のすがたを反映することができますように。

## 8 月 6 日 災害・基金援助のためのささげもの(ADRA)

2020 年以降、世界中で蔓延している新型コロナウイルス感染症危機の渦中において、神の御計画を感じることは困難かもしれません。しかし神は、このパンデミックにおいて生活物資や愛する者を失った人々に対して、キリストの再臨を知らせることについての御計画を持っておられます。

「災害・飢饉援助のためのささげもの」は、世界中のアドベンチスト教会にとって人間愛の両腕である ADRA と ACS(アドベンチスト・コミュニティー・サービス)の働きを支えるために用いられます。ADRA はすでに新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2千万人以上の人々の必要に応えています。パンデミックによって侵された生活の基礎—食料、水、住宅、教育、収入、医療—を提供することによって、多くの人々の人生を変え、命、健康、希望を回復しています。

私たちのささげる統合約束献金は、最悪の状況にある人々を支えます。ADRA と ACS の働きを支援することは、避難所、新鮮な水、食糧、安全などを通して、神の愛を形として示す行為です。

## 8 月13日 主が力づけてくださる

神が私たちに富を与えてくださったので、私たちはそれをささげて礼拝します。自分にはお金がないという人、また「富」という言葉の意味を、霊的に理解しようとする人もいます。しかし、私たちは神が与えてくださった「富を築く力」を感謝していません。

ある男性が妻との違いについて説明して言いました。「仕事を終えて家に帰ると、お腹の空いている私は真っ先に台所に走って行って、鍋の蓋を開けて食べる物を探します。一方、妻はお腹が空くと戸棚や冷蔵庫を開け、食材を取り出して料理を始めるのです」。これは、同じ必要に対する2つの異なる取り組みを表しています。夫は出来上がった料理を求め、妻は食材を使って料理を作るのです。

富がないからといってがっかりするのではなく、神が備えてくださった健康や賜物を用いる方がより有益です。最もわくわくする経験の一つは、神と協力して、私たちに必要な資金を作ることです。什一と統合約束献金をささげることを通して、神が富を築く力を備えてくださることを讃美できるのです。

## 8月20日 自己否定を示す

私たちは神の犠牲的な愛のゆえに神を礼拝します。イエスは激しい抵抗に遭いながら、ご自分の使命を果たされ、最後はご自分の命をささげられました。自己犠牲の精神はクリスチャンのアイデンティティの一部です。

J・N・アンドリュースは、アドベンチストとして最初の正式なヨーロッパへの宣教師となりました。二人の子どもを持つシングルファーザーであった彼は、時々お金が送られてくるとの約束を聞いていましたが、必要としていたほど定期的に受け取ることはありませんでした。トラクト、パンフレットなどを発行するために、彼はしばしば自分たちの生活費を使うことになったので、食料や生活必需品なしに過ごすこともありました。1877年に彼は肺炎になって検査を受けたところ、医師に飢え死にしかけていると言われました。1年後、娘が結核で亡くなりましたが、彼自身が54歳で結核によって亡くなるまで働きを続けました。

今日、私たちが什一と統合約束献金をささげることによって、キリストの自己否定の精神をあらわすことができますように。

## 8月27日 すべての与え主

主はすべての与え主であるため、私たちはすべての什一をお返しします。アブラムは強力な連合軍に勝利した後、食物、物品、所有物すべての什一を祭司メルキゼデクにささげました。また彼の孫ヤコブはすべての什一をお返しすることを約束しました。イエスも什一は「全収入の」十分の一であると認めておられました。すべての什一をお返しすることは、神をすべての与え主として認めることだからです。一部についてだけ什一をお返しするということは、神が私たちの必要としている物の一部しか与えない方であることを意味します。

「ブラインド・スウィング」というゲームでは、目を閉じて二人の人に体を前後に揺さぶってもらいます。完全に目を閉じ続けるなら、自分の体を揺さぶる人を信頼することによって平安な気持ちになることができます。不安と混乱の世の中であって、すべての物の什一をお返しすることは完全に信頼することの表現であり、心の平安を得ることにつながります。

今日、什一と統合約束献金によって礼拝する時、私たちは天来の平和を得ることができます。

## 9 月 3 日 バビロンのごまかしに対する守り

私たちは、財産をもって神を礼拝します。なぜならば、それは惑わす者に対する防壁の一つだからです。聖書では、毒入りのぶどう酒をふるまう預言的なバビロンを、欺瞞の象徴として記しています。バビロンの最後の欺瞞の一つは、経済的な豊かさの源という姿で自らを表すことです。聖書は、経済的な惑わしの象徴であるバビロンから出て来るようにと警告しています。

リスは、公園や庭にいても人間に近づき過ぎないようにいつも注意しており、人が近づくと隠れようとします。しかし、どんぐりなどの貯えが底をついた頃には、ナッツを与えることで彼らに近づくことができます。食料を必要としているとき、防衛本能が低下しているからです。同じように、経済的に困っている時、私たちは収入を得る方法が魅惑的に感じます。

什一と統合約束献金の実践は、神が真の豊かさの源であることを、常に覚えているための助けとなります。

什一と統合約束献金をささげることによって、私たちはバビロンに抵抗して立つことができますのです。

## 9 月 10 日 見当違いの希望に注意する

私たちは、自分の財産をもって神を礼拝します。なぜならば、それは間違った希望から私たちを守ってくれるからです。パウロは、富自体ではなく、富の源であるお方に希望を置くことの方が安全だと勧めています。

マークは、深く心を動かされて貯金の 30%をささげました。ところが彼はその直後、深刻な財政難に陥り、事業は崩壊し、借金をかかえることになってしまいました。ちょうどそのころ、新しい教会建築のために一千万ユアンが必要だというアピールを聞いた彼は、聖霊に心を動かされ、自分の収入のことなど考えずに、四十万ユアンささげる決心をしました。すると、以前働いていた会社の役員が、もう一度彼と働きたいと誘ってきたのです。その後、彼は役員に昇進し、取締役になりました。マークは、その教会建築プロジェクトのために、最終的には百万ユアンの献金をしました。彼は、財産をささげることによって神への信頼を表したのです。

今日、什一と統合約束献金をもって礼拝する時に、私たちの希望がどこにあるのか明らかに示しましょう。

## 9月17日 救いは、後から思いついたものではない

私たちは、計画的に、そして定期的に献金をささげます。なぜならば、神の人類への贈りものは、後から思いついたものではないことを、神ご自身の模範を通して示しているからです。神の御子をささげ、人類を罪から救うという計画は、宇宙の創造の前に練られたものでした。そして、定められた時に、イエスは地球に來られました。これは、墮落した人類への、愛情深い神の思いやりをはっきりと表しています。

あなたが親しく大切だと思っている人から、誕生日カードを遅れて受けとった時の気持ちを考えてみてください。遅れたメッセージが、最高のものになることは滅多にありません。誰かを大切に思い、特別だと感じていることを本人に伝えたいなら、私たちは常にカレンダーにしるしをつけ、大切なイベントを忘れないようにします。愛の表現は、自然に沸き起こるものであると同時に、計画的なものなのです。

今日、什一と統合約束献金をもって礼拝する時、私たちの神を第一に、そして最も大切にしていることを示しましょう。

## 9月24日 最も安全な場所に置く

私たちは、富は天に積むことが最も安全だと理解しているので、財産をささげて神を礼拝します。聖書は、終わりの時には財産は、価値を失ってしまうと預言しています。その出来事は、人類が経験したことのない、最も厳しい不況、超インフレ、絶望を表しています。超インフレになると、物価は 24 時間も経たないうちに、倍になります。人々は籠の中に札束を入れて運び、スーパーに向かわなければなりません。何時間も銀行の ATM に並んで預金を下ろそうとしても「残高が不足しています」と告げられるだけです。現地通貨への信用は失われ、人々はより強い通貨に両替するでしょう。両替だけが、価値を保つ方法だからです。このことは、「富は、天に積みなさい」というイエスの勧告に合致します。天への両替は「善を行い、良い行いに富み、物惜しみをせず、喜んで分け与える」ことで可能です。

今日、什一と統合約束献金をもって礼拝し、人々への祝福となることを通して、富を天に積むことができるのです。